

神奈川地本広報センターイベントを実施

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田辰雄）は、5月29日（日）、平成28年度第1回広報センターイベントを実施した。

本イベントは、同日武山駐屯地で実施された東部方面混成団創立5周年記念行事を見学するバスツアーで、神奈川地本広報センターの知名度の向上及び県民等に自衛隊をより身近な存在として感じてもらうことを目的に実施されたもので、インターネット等の公募で選ばれた18名が参加した。

当日は天気にも恵まれ、観閲車両行進において目の前を戦車が走行する光景を目にした参加者たちからは感嘆の声があがり、また教育隊新隊員の圧巻の自衛隊体操や302保安警務中隊の特別儀仗などを楽しんだ。

参加者からは、「たくさんの装備品や部隊を見ることでできてとても楽しかった」「新隊員の凛々しい姿に感動した」との声を聞くことができた。

神奈川地本は、「今後も、国民の自衛隊に対する理解と信頼を深められるよう、積極的に広報センターイベントを計画していく」としている。



観閲車両行進

「立派な海曹を目標に」 隊員来所

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平1陸尉）に、5月30日（月）、平成27年9月に海上自衛隊に入隊した杉山2等海士が来所した。

杉山2士は、入隊前までスポーツジムで水泳のコーチを主に行っていたインストラクターであり、新隊員教育ではその能力を十分に活かして、優秀な成績で教育を修了し、現在は第11護衛隊所属の「護衛艦やまざり」に補職され、職種である電子整備を懸命に勉強している。

今回の訪問は、入隊までの事務所に対するお礼を兼ねて、入隊前からお付き合いをしていた女性との入籍報告に、引越等多忙な中、来所した。入隊前の手続きでは当時交際の女性が必要書類を揃えるなど、文字通り内助の功で入隊できたを見ていた所員も大変うれしく、数か月前の想い出話に花を咲かせた。杉山2士は「新隊員教育が終わって護衛艦に配置され、ようやく自衛官としてのスタートラインに立てたような気がする。また家庭もでき妻の支えを力にして、先ずは人々の役に立てる立派な海曹を目指したい」と力強く語ってくれた。

平塚地域事務所は、「今後も、自衛隊に対する正しい理解を得て、一人でも多くの若者が自衛官を志願してくれることを期待し、引き続き任務に邁進したい」としている。



来所した杉山2士夫妻